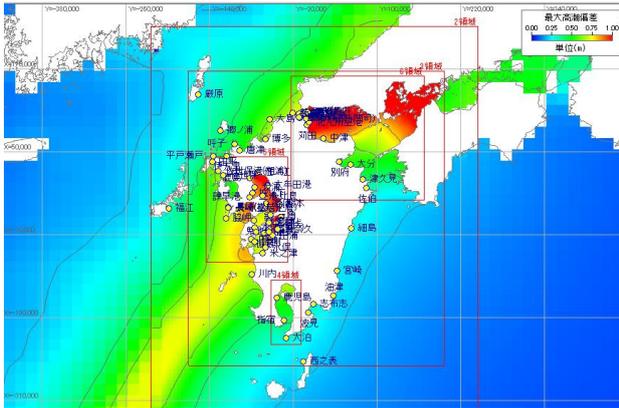


## ○高潮・波浪推算システムの開発・運用

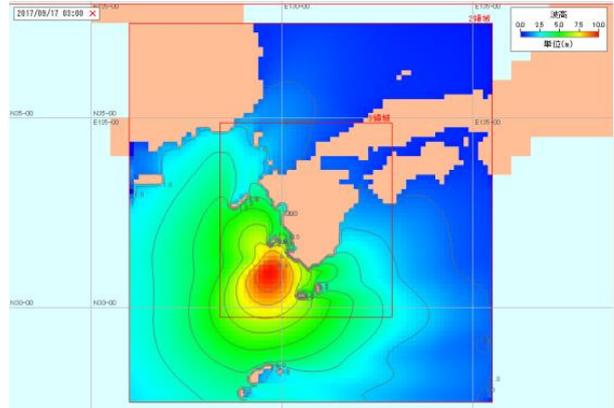
九州地方は強い勢力を維持したまま接近・上陸する台風が多く、これまでも多くの高潮・高波被害が発生しています。特に近年は台風の大型化が指摘されており、これに伴う高潮・高波に対する防災・減災対策の重要性が増しています。

九州地方整備局管内の各港湾で、これから発生する高潮や波浪およびその起時を精度良く予測することができれば、事前防災や被災後検証に役立てることができます。

下関技調では、これまで海域（港湾）毎の高潮偏差の算出が可能な高潮推算システムに加え、施設前面波高等の推算が可能な波浪推算機能等を追加して運用性の向上を図った高潮・波浪推算システムを開発し運用しています。



最大高潮偏差図



最大波高図